

大統領の クリスマスツリー

Team Okuyama
PRESENTS

片想いの街 ニューヨーク

インターネットのURLは<http://cinesc.eplaza.or.jp/xmas>

©1996「大統領のクリスマスツリー」製作委員会

NEC

博報堂

ポニーキャニオン

TBS

毎日放送

サンゴファブリック

ニチメン

IMAGICA

ORIX 伊豆山 松竹

配給:松竹映

「大統領のクリスマスツリー」の製作に寄せて

移民の国アメリカ—異なるものを多く内包してきた国、「自由と平等」という建国の理想と人種・民族間の差別といった現実の自己矛盾に苦悩する国、しかしながら、「アメリカの夢」見し国である。大統領のクリスマスツリーは、数々のアメリカの苦難や現実の中で、人々の「希望の光」として輝き続けた。毎年クリスマスにホワイトハウスの前に飾られた、この大きなツリーの前で、大統領は、平和と子供たちの未来を願い、人々は夢と愛の為に祈り続けた。そんなアメリカの最たる街、ニューヨーク。世界中で最もコスモポリタンなこの街は、自由の女神にこの新大陸での夢と希望を見て、心をふるわせた移民達を暖かく迎え入れた。そして、その夢の多くを飲み込んできた。「アメリカの夢」は、いつも多くの「片想いの夢」の上にある。自由の女神—遠く海に向かい、訪れるものにはその優美な姿を、しかしこの街にある者には背を向ける—この像は、そんな“片想いの街 ニューヨーク”を象徴している。

私は、この「片想い」の街、ニューヨークで、夢に片想いしながらも、精一杯生きる人々を描き、アメリカを語りたくと考えた。そして、タイトルは「大統領のクリスマスツリー」、未来の希望の光である。

この作品への取り組みは、未来の夢への挑戦である。国内作品でありながらも、単独で海外製作へ取り組むことは、我々に海外製作の経験とノウハウをもたらし、やがてそれは我々の財産となる。そして、その財産を吸収し、育つ若き後進たちが、日本映画の未来を担うのである。今回、製作委員会として、御参加頂いた日本の優良企業社との連携は、マルチメディア時代の映画の製作を支える、重要な経済的基盤の原型をなすのだ。日本の映画界の国際化は、経済界全体に比べれば、勿論遅れている。しかし、我々には、マルチメディア時代に映画を有効な映像ソフトとして確立すべく、海外との共同製作により、世界に通ずる、普遍性を持った映画を創り出す不滅の夢がある。かつてニューフロンティア精神を唱えた、若きアメリカの大統領の言葉ではないが、環境に何かを期待することよりも、まず自分たちが何をできるか考え、そして始めてみようと思う。それが、決して健康体とは言えない今の日本映画の未来に残された唯一の希望なのだから…。

Team Okuyama
PRESENTS
奥山和由

THE STORY

“大統領のクリスマスツリーの前で出会った二人は、永遠に結ばれる運命の二人”

この伝説が一体何人の心を支えつづけたのだろうか・・・

川端 燐(きらり)、25歳。ホワイトハウスにある大統領のクリスマスツリーを経由して、今このニューヨークに降り立ったばかりの彼女は、これから始まろうとしているそこの新しい生活に、抱えきれないほどの期待を寄せていた。末期ガンと闘い、最期の風景にマンハッタンを選んだ、ジャーナリストの姉キョウコと、ミュージカル女優を目指し、半年前からダンス留学をしている妹 煌(あかり)との再会。そして、きらりにとって理想のカップルであったキョウコの元 夫ハルキが今どうしているのかも・・・。きらりが照明デザイナーの道を歩きだすきっかけとなった、大統領のクリスマスツリーを初めて彼女に教えてくれたのも、この二人だった。何か目に見えない力に導かれるように、仲の良かった三姉妹と、今も愛しあう男女が再び出会うはずだった。ここ、「片想いの街 ニューヨーク」で・・・。

しかし、この街で彼らが、心に築いてしまった壁は、きらりが思う以上に厚いものだった。キョウコの出生の秘密を知ってしまっ以来、姉に寄りつこうとはしなくなった、あかり。お互いに心では想い合いながらも、二度と顔を合わせてその気持ちをぶつけあおうとしないキョウコとハルキ。さらには照明デザイナーの夢にむかっていた走りながら、頑なに閉ざされた大好きな人たちの心の扉をノックし続けることを、諦められずにいた。ハルキに対して募っていくどうしようもない想いに悩みながらも、なんとかもう一度キョウコとハルキを会わせようとする。そんなきらりの心からの切なる願いも虚しく、そのうちにも刻一刻と失われていくキョウコの時間に、彼女はついに追いつくことはできなかった。46年の一生を激しく生きたキョウコは、静かにひっそりと天国へ旅立っていく。愛する者たちに、自分と向き合うことの大切さと勇気を伝え残して・・・。

あかりは女優への夢を新たに、ハリウッドを目指し、ハルキはニューヨークを離れ、もう一度キョウコとの思い出の場所で、弁護士として出直そうとする。そしてきらりは、ハルキがいまだに持ちつづけているキョウコへの深い愛を目の当たりにして、何度傷ついたとしても、頭から拭い去ることのできなかった気持ちに、正直に向かおうと決心する。ハルキに会いたくて、会いたくてどうしようもなくなったきらりは、ついにその想いを、インターネットのメールに託す。

“12月24日の夜、大統領のクリスマスツリーの前で、待っています・・・”

あの伝説のように、きらりとハルキは永遠の二人になれるのだろうか。きらりが愛した人たちの心は、解き放たれるのだろうか。自由の国アメリカ、“片想いの街 ニューヨーク”に、今年もまたクリスマスが訪れようとしている・・・。



大統領の クリスマスツリー

スタッフ

製作/総監督	奥山 和由
原作	鷲沢 朋 「大統領のクリスマスツリー」 <small>(講談社文庫)</small>
主題歌	BOZ SCAGGS 「Fade Into Light」 <small>(東芝EMI)</small>
プロデューサー	サイモン ツェー 中川 好久 小松 護 佐々木原 保志 月野木 隆 市川 元一 川島 章正
撮影 監督補 照明 編集	林 哲司
音楽監督	奥山 和由 原田 真人
脚本	Directed by Team Okuyama
キャスト	川端 燐 羽田 美智子 山下ハルキ 別所 哲也 川端 煌 粟田 麗 山下 キョウコ 余 貴美子 三上 遊宇 野村 祐人

96年冬・松竹・東急系にてクリスマスロードショー! 特別鑑賞券(券¥1500/券¥1300/券¥2800)発売中!

丸の内ピカデリー1 新宿ピカデリー1 新宿ジョイシネマ 上野セントラル 横浜ピカデリー 川崎チネグランテ 大宮オリンピア 船橋らぼーセントラル 柏 松 竹
03(3201)2881 03(3352)1771 03(3209)6180 03(3832)0057 045(261)2886 044(211)6125 048(644)5496 0474(31)0088 0471(63)0760